

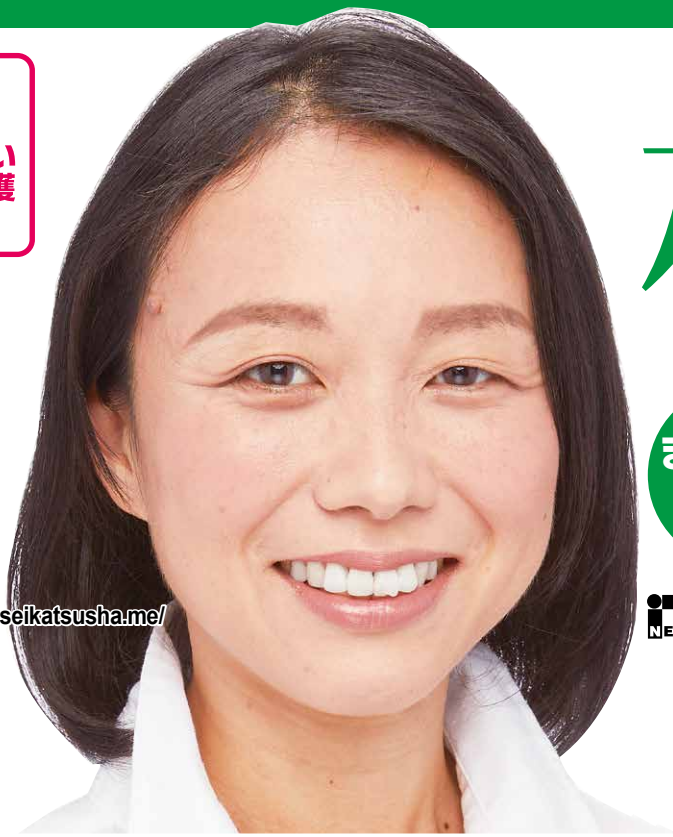
松岡 まり

まつおか
まり

国分寺・生活者ネットワーク
政策担当



<https://matsuoka.seikatsusha.me/>



生活者ネットこくぶんじ No.163 西版

2023.1.10 国分寺・生活者ネットワーク
〒185-0024 国分寺市泉町 3-33-16-103
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878
kokubunji@seikatsusha.net

松岡まり

プロフィール

■ 1984 愛知県江南市生まれ ■ 岐阜大学応用生物科学部食品生命科学課程卒業 京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻修了（食品由来成分の抗糖尿病作用の研究） ■ 2010～13 井村屋株式会社等勤務 ■ 15～16 イタリア在住、第一子出産 ■ 17 日本帰国、国分寺市在住 環境に負荷の少ない食材を使う陰陽調和料理教室、お話し 産前産後の母への出張料理など開催 生活クラブ生協加入 ■ 18 国分寺・国立のコミュニティまの輪を初期運営メンバーとしてスタート（現まのわ） ● 料理教室や出張料理、「自分に還るランチボックス」販売の feeleat 主宰 ● 家族：夫、息子（国分寺二小1年生）1歳（萌ベビーホーム在園） ● 光町在住 ● NPO 法人日本総合医学会食養指導士 ● 特技 書道、算盤、器械体操

子育て・介護 ひとりにしない

女性でも、お母さんでも、マタニティ期でも、「手いっぱいだけど頑張らなきゃ！」ではなく、その渦中にいる当事者だからこそ、発信できることがあります。これまで、6年くらい、いろいろな場でこちんまりと、オーガニックな食の料理会やお弁当の販売を通して、ていねいな暮らしについて話す機会をつくってきました。

そして、国分寺・生活者ネットワークの活動と出会い、政治、市政にしっかり向き合おうと思い始めました。今の社会で生きている以上は、政治が関わっているのは当然のことだと実感しています。

「頑張りすぎなくても、周りを頼って、信頼できる」社会にしていきたいと思います。

一人ひとりが、「やりたいと想ったことができる」「応援しあえる」環境を国分寺のまちにつくるために、市政にチャレンジします。

松岡まり

■国分寺・生活者ネットワーク松岡まりの活動を紹介します。

松岡まりさんを応援します

山田 真
福嶋浩彦
鈴木礼子
中村裕子
若山 修
根本志保子
大田美保
山田陽子
椎野まりこ
諏訪玲子
林ひろみ
竹内正美
田中道子
永澤あきこ
磯野由佳
徳永友美
池田あつ子
大西ゆき子
山内れい子
岩永やす代

小児科医
元我孫子市長
社会福祉法人悠遊理事長
まめカフェ店主
八百屋兼コンサルタント
日本大学経済学部教授
株式会社マヤナツツカンパニー代表
予防習慣ヘルスアドバイザー
まんまる助産院院長

まのわ代表
ジャスミンカフェ&シズンチャンネルジャパン連合会理事
萌ベビーホーム園長
まちのこ運営 管理栄養士

デザイナー 母親
元都議会議員
元都議会議員
前都議会議員
都議会議員

ともに連携し
市民発のまちづくりを
すすめます



岩永やす代
都議会議員

実現しました!

- 「国分寺市グリーン購入ガイドライン」に具体的に、純石けん使用明示。公共施設にポスター掲示
- 生ごみ・たい肥化事業の推進と廃食用油の回収（バイオディーゼル化）、せん定枝のたい肥化実現。生ごみの収集拠点拡充。家庭用生ごみ処理機への助成も継続中。
- 公共施設の自動販売機にペットボトルを使用しないことを提案。順次改善中。
- 「香り」の害から健康を守るため啓発を提案実施。
- 動植物調査の実施。
- ひとり親家庭のニーズ把握調査を実施
- 生活困窮者自立支援事業に任意事業の「家計改善支援」を導入
- 不登校児童・生徒対象の国分寺市教育支援センター「適応指導教室」の名称変更を提案、「トライルーム」に変更
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「地球温暖化防止行動計画（市域版）」の策定に向け基礎調査がスタート
- ヤングケアラーについての理解を深め、支援につなげるため、講演会や関係機関職員向けの研修・講座等を実施。
- 認知症の方を地域でサポートするための訓練を提案
- 恋ヶ窪用水路の調査と整備を提案
- 地域防災計画に女性の参画を位置づけ避難所運営マニュアルに女性、高齢者、障がい者の視点の整備を提案
- 樹木の伝染病「ナラ枯れ」対策と緑の確保に向け樹林地の適切な管理を提案
- 子どもたちの声をもとに公園整備を提案
- 農業振興施策として「こくベジ」の推進

おいしそうな野菜が元気に育つ市内の畑。身近な地域で作られた農産物を地域で食べさせていく仕組みはとても大切です。



政治は生活をよくする道具です

国分寺・生活者ネットワーク松岡まりの提案

生活者ネットワークは市民が立ち上げた政治団体です。毎年、市民の声を集めて政策をつくり、市や都に予算要望として提案しています。

ともに活動しています。



左から 岩永やす代（都議会議員）、小坂まさ代（市議会議員）、松岡まり（市政政策担当）、高瀬かおる（市議会議員）

みなさまのカンパをお待ちしております

カンパ振込先 郵便振替口座 00110-8-93991 国分寺・生活者ネットワーク

「おいしい」からはじめる国分寺

「食」は生きるための基本です。

「食」からさまざまな効果、影響、ひろがりがあります。

オーガニック（有機）は、農薬や化学肥料に頼らず、自然の力を生かした農林水産業や加工方法のことです。農水省によると、有機農業の取組面積は現在、全体の0.6%ですが、2010年に比べると51%増加しています。オーガニック給食をひろげようという全国的な活動もあり、実際に取り組み自治体も増えてきました。

国分寺市でも、地域に根づいた農産物を守り、無農薬・低農薬の都市農業をすすめるために農業者支援をしていきたいと思っています。

1. 緑と水を守り、食も安心できる環境の国分寺

- ・地産地消をすすめ、食の安全、農を守る
- ・安心できる学校給食と無償化をめざす
- ・国分寺崖線、砂川用水など水と緑を守り、野川の国分寺部分の親水化整備実現
- ・ごみの発生抑制と再使用を推進し循環型社会へ
- ・「香害」や有害化学物質に関する周知
- ・脱原発！原発の再稼働に反対。省エネルギーと再生可能エネルギーをすすめる
- ・地球温暖化防止行動計画（市域版）・生物多様性地域戦略をつくる

2. 子どもたちがのびのびと育つ国分寺

- ・産前産後の支援から子育てを孤立させない支援体制の充実
- ・保育の質を高め、かけがえのない「子どもの時間」をまもる
- ・施設整備と子どもたちが過ごしやすい学童保育
- ・子どもの権利条例の制定

3. 一人ひとりが自立し大切にされる国分寺

- ・学校も公園もまちづくり全体をインクルーシブに誰もが使いやすい視点ですすめる
- ・多様性を認め合い、性別で差別されない社会へ
- ・憲法をまもり、地域から人権・平和を発信

4. 高齢になっても障がいがあっても暮らしやすい国分寺

- ・介護する人の人生を応援するケアラー支援条例をつくる
- ・24時間対応できる在宅介護・在宅医療のしくみを強化
- ・介護予防・生活支援を地域で機能させる
- ・認知症になっても安心して暮らせる地域づくり
- ・障がい者の就労支援、生活支援の充実

5. 大事なことは市民が決める国分寺

- ・公共施設の整備は市民の意見を反映し使いやすいものに
- ・情報をわかりやすく公開し、政策決定過程に子どもや若者を含め幅広い市民参加を促進
- ・市の財政運営をチェックし、かゆいところに手の届く予算配分